

新型コロナウイルス感染症対策

～施設での取り組みで気付いた事～

施設名：介護老人保健施設 信愛の丘

発表者：支援相談員 城間絵利奈

共同研究者：支援相談員 新里ひかる

【はじめに】

沖縄県内での新型コロナウイルス感染症の感染状況を踏まえ、施設内では入所者様に対しコロナウイルスを持ち込まないように感染防止対策を継続して取り組んでいます。

コロナ禍でもご家族様からの依頼が多いショートステイ利用者様への受け入れ方法、感染対策に着眼し、施設入所者様と共に安心した療養生活を送る事ができるかを考え、その取り組みを報告する。

【取り組み内容】

- ① マスク・フェイスシールドの着用、検温測定実施
 - ・ショートステイ利用者様の送迎時や療養課でのケア対応の際、飛沫感染防止対策目的でマスク・フェイスシールドを着用する。
 - ・非接触型検温測定の実施
- ② ショートステイ利用時、新型コロナウイルス感染防止対策の為、ご利用4日前からご自宅での検温、体調報告の依頼(パワーポイント参照)
 - ・ショートステイ利用日のお迎え時に、ご家族様へ体調確認の元、周りにコロナ感染罹患患者や濃厚接触該当者が居ない事を確認し受け入れを行う。
 - ・ショートステイ利用前に37.5℃以上発熱した場合や、病院受診時に肺炎と診断された場合、病院受診し抗生剤を服用している場合は免疫力低下もあり感染症のリスクが上がる為、受け入れ中止とした。
 - ・ショートステイ利用者様の担当ケアマネジャーと連携し、情報共有を行い、受け入れ可否の判断を行う。
- ③ 送迎車両内の飛沫感染対策として車内用ビニール製カーテン設置(パワーポイント参照)
 - ・後部座席からの飛沫を防ぎ、車内の密室を回避する為に、送迎時には窓を開け換気を常に行う。
- ④ 他事業所、同居家族内でのコロナ感染やクラスター発生時は受け入れ中止とした。
- ⑤ 新規入所予定者様へPCR検査、又は抗原検査の実施を依頼(陰性確認後に新規入所)
 - ・在宅からいらっしゃる新規入所予定者様のご家族様へ薬局で販売されている医療用抗原検査キットを購入してもらい、検査をしてもらうように依頼を行う。病院先に関しては、病院内の

感染状況に応じて検査報告を受けるが、病院によっては感染者がいない場合は健康観察の報告にて受け入れを行っている。

【結果】

- ① コロナ禍の中、ショートステイの受け入れがスムーズにできた。
- ② ショートステイの受け入れ件数や問い合わせなどが増えた。
- ③ 体調の変化により、利用前に延期する事ができた。
- ④ 上記の感染防止対策により、新規入所者様、ショートステイ利用者様からのコロナウイルスの持ち込みは無かった。

【考察】

送迎車両内の飛沫感染対策として車内用ビニール製カーテンを設置し車内換気を行っていたが、施設到着時には送迎前と比べ、非接触型検温で体温が37.0℃を超える事があり腋窩体温で測定すると平熱であった。その場面で、コロナ発症を疑う声も上がっており体調万全にて送迎を行っているが懸念が生じて検証を行う。要因として、直射日光で車内が暑くなり空調管理が上手くいかずに体温が上昇したと考えられる。その後、ビニール製カーテンの長さを調整し車内の温度が上昇しないように工夫した。

【まとめ】

今回、当施設で依頼の多いショートステイご利用者様の受け入れ方法を工夫してみた。当初、療養課職員で心配の声があったが、在宅での感染対策や送迎時の感染対策を理解してもらう事ができた。感染防止対策を行っていく中で、考察にもあったように、体温の変化にて万が一のコロナ感染を疑う事で職員の意識付けや成長が感じられた。体調の変化を未然に防ぐことで、ショートステイ利用者様やご家族様、入所者様が安心安全に療養生活を送れるように引き続き支援を行っていきたい。